

～荒廃農地の再生利用をきっかけとした経営規模の拡大～

茨城県茨城町

平地農業地域

取組主体: 農地所有適格法人(認定農業者)

取組開始時期: 平成28年1月～

解消面積: 5ha(平成29年6月時点)

導入作物: 小松菜

1. 取組のきっかけ・経緯

取組主体は、小松菜や水菜等の露地野菜を中心に農業経営を行っており、経営規模の拡大、かつ作業効率の向上を考え、まとまった農地を探していた。

しかし、周囲の農地は既に耕作されており、そうした農地の確保が難しい状況にあった。

こうした状況の中で、周囲の荒廃農地に着目し再生利用に取り組んだ結果、経営面積を約20haまで拡大することができた。

なお、そのうち荒廃農地を再生利用した面積は約5haである。



2. 取組内容

対象農地は草・立木・篠竹が繁茂している状態であったため、自己所有機械で再生作業及びビニールハウスの撤去を行った。

また、圃場の荒廃が著しく地力が落ちていたため、ソルゴー等の緑肥の作付けや堆肥散布を行い、作物の作付に向けて地力回復を図った。

なお、対象農地は農地中間管理事業を活用して、10年間の安定的な耕作期間を確保している。

3. 今後の課題・予定など

荒廃が進んだ農地は地力の低下が著しいことから今後も継続して土づくりに取り組む必要がある。

しかしながら、荒廃農地を活用したことにより集積・集約化がしやすくなったというメリットは大きい。

したがって、今後も荒廃農地の再生利用を行い、経営規模の拡大及び農地の集積・集約化を進めていく予定である。

4. 活用した補助事業等

(国)耕作放棄地再生利用緊急対策交付金

(補助内容: H27～28年度、1. 69ha、再生作業、農用地保全(ビニールハウス撤去)、土壌改良)

○ 農地中間管理事業(転貸面積: 13ha、うち荒廃農地解消: 2. 3ha)



再生前



再生後